

基調講演：日本の社会的インパクト投資市場構築に向けて

2/19 13:00-13:15

内閣府副大臣（経済財政政策・金融担当）越智隆雄氏



※内閣府副大臣 越智隆雄氏

2/19(月) 13:00 より、内閣府副大臣 越智隆雄氏より、基調講演「日本の社会的インパクト投資市場構築に向けて」が開催された。

まず日本経済の現状認識について、この5年間のアベノミクスの功績について触れ、今後民需主導でデフレの脱却及び経済成長を実現するため、民間活力を最大限に生かすための政策について触れられた。例えば、PFIによる効率的・効果的なサービスの提供や財政負担の軽減、休眠預金の活用、そしてSIBの推進である。

社会課題の多様化・複雑化により、政府の力だけではその解決が難しく、民間資金の利用し、社会性と経済性を両立させながら社会課題の解決を図ることへの期待を述べた。特にSIBについては、行政として資金的风险を負わず、事業者として効果的な事業運営が可能で、資金提供者としては経済的な便益に限らず社会的便益も得ることができる画期的な取り組みとして、政府の未来投資戦略2017でも、モデル事業の実施や、環境整備、案件形成について触れられており、まち・ひと・しごと創生基本方針2017では地方創生推進交付金としてソーシャルベンチャーによるSIB支援が決められている。

日本において、社会的インパクト投資はまだ発展の過渡期であるものの、SIBという革新的な手法によって民間事業者が効率的に事業を実施できるとし、日本が高齢社会として進展していく中、神戸市や八王子市の案件のように保険・福祉分野でSIBが実施され、社会に適応しているとした。

今後は、ノウハウ集の整備や指標の設定、案件組成などへの取り組みを政府としても進めるほか、PPPやPFIとの連携や、休眠預金の活用が望まれるとし、SIB組成の流れに積極的に参加してほしいと呼びかけた。

以上